

アジア政経学会 2006年度第4回理事会 議事録

1. 日時 2006年9月2日(土) 15:00~17:00
2. 会場 霞山会館 さつきの間
3. 理事総数 24名
4. 出席者 7名(国分・佐藤・沢田・高橋・高原・武田・山本)
(+監事:石井・小島)(+特任理事:丸川)
(+全国大会実行委員長:安田)
5. 委任状提出者 9名
6. 出席者合計 16名
7. 議長 国分理事長
8. 議事

(ア) 定刻に、国分理事長が議長席に着き開会。まず、総務担当・高橋理事より本日の出席者は16名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているので、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、高橋伸夫氏、山本信人氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

(イ) 前回(2005年7月1日)理事会議事録の確認を行った。

議案1 本年度全国大会(10月28・29日、於:慶応大学日吉キャンパス)の準備状況について

- (1) 実行委員長の安田淳会員より、全国大会の開催案についての報告が行われた。これをもとに、両日のタイムテーブル、自由論題、共通論題、分科会の詳細について討議が行われた。
- (2) また、国分理事長より、2007年度の東日本大会の開催校として学習院大学に、また全国大会開催校として北海道大学に、それぞれ打診中であるとの報告が行われた。

議案2 『アジア研究』の編集状況について

武田理事(編集担当)より、以下3点の報告が行われた。

- (1) 10月発行予定の『アジア研究』第52巻第4号について、入稿が済んだ旨の報告と、掲載内容の詳細についての説明が行われた。
- (2) 本年度全国大会における共通論題2「アジアの核開発と拡散防止レジーム」を、『アジア研究』特集号に掲載する案についての報告、および討議が行われた。

- (3) 『アジア研究』第52巻第3号において誤植が発見され、第52巻第4号において訂正とお詫びを掲載する旨の報告が行われた。
- (4) 1本の投稿論文について、査読審査中に他の媒体で発表されたことが判明したため、受理取り消しを行ったとの報告が行われた。

議案3 ニュースレター、ホームページの改訂について

山本理事（広報担当）より、以下2点の報告が行われた。

- (1) ニュースレター第26号を、定期刊行時期より遅れて9月6日に発送の予定であるとの報告が行われた。遅れた理由は、本年度は西日本大会が7月に開催されたため。また、第27号は、2007年1月に刊行の予定であるとの報告が行われた。
- (2) ホームページ管理・運営の件について、現在の問題点、業者変更および、今後の対応についての報告があり、これをもとに討議が行われた。

議案4 本年度優秀論文賞について

「アジア政経学会優秀論文賞」選考委員長の石井監事より、本年度優秀論文について、選考対象論文の中から選考が行われ、その結果、小嶋華津子氏の論文を推薦することの報告と説明が行われ、承認された。

議案5 『現代アジア研究』の編集状況について

国分理事長より、全体の報告が行われた。続いて第1巻担当の高原理事・第2巻担当の高橋理事・第3巻担当の武田理事より、各巻の執筆候補者からの承諾が得られ、執筆者が決定したとの報告が行われた。

なお、全国大会2日目昼に、慶応大学出版会の担当者同席で、編集委員会を開催する予定である。

議案6 入・退会者について

以下の新入会希望者6名、退会者1名の承認が行われた。

<新入会> 金紅実、岩内健二、小山昌久、権慈玉、高安雄一、北村隆則

<退会> 曾村保信

その他の議案

①次々回理事会は、2006年12月2日（土）15:00より、霞山会館にて開催予定である。

以 上

国分議長が午後17時00分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成18年9月2日

財団法人アジア政経学会

議長

岡本良成



議事録署名人

高橋伸夫



議事録署名人

山本信人

